

## 7.特別勘定資産残高の状況

(単位:百万円)

区 分	平成13年度上半期末	平成12年度上半期末	平成12年度末
個人変額保険	126,263	157,549	146,213
団体年金保険	802,404	990,145	922,776
特別勘定計	928,667	1,147,695	1,068,990

## 8.債務者区分による債権の状況

(単位:百万円)

区 分	平成13年度上半期末	平成12年度上半期末	平成12年度末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,976	44,957	9,827
危険債権	17,327	13,861	10,278
要管理債権	12,181	40,467	22,668
小 計	35,485	99,287	42,775
正 常 債 権	6,179,098	5,653,236	6,290,432
合 計	6,214,584	5,752,523	6,333,207

- (注) 1.破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。
- 2.危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 3.要管理債権とは、3ヵ月以上延滞貸付金および条件緩和貸付金です。なお、3ヵ月以上延滞貸付金とは、元本または利息の支払が、約定支払日の翌日から3ヵ月以上遅延している貸付金(注1および2に掲げる債権を除く)です。条件緩和貸付金とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金(注1および2に掲げる債権ならびに3ヵ月以上延滞貸付金を除く)です。
- 4.正常債権とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、注1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権です。
- 5.平成12年度末より、現金担保付債券貸借取引等により貸し付けた債券等を対象に含めております。